

平成22年度小松島市事務事業評価シート

事業の位置づけ（基本事項）				整理番号	4 - 1 - 37	
事務事業名	徳島小松島港本港地区港湾敷地管理事業			担当課係	産業振興課	
総合計画上の位置付け	大項目	6. 「街が輝く」		記入担当者		
	中項目	魅力ある都市基盤の整備		内線等		
	小項目	2. 交流基盤の整備		E-mail		
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）			事業区分	臨時事業	
事業予算費目	款	8	土木費	項	6	港湾費
	目	1	港湾費	事業	5	徳島小松島港本港地区港湾敷地管理事業
開始年度	平成 22	年度	根拠法令・要綱等			

事務事業の概要（実施内容）						
事業の対象	（誰の、何のために事業を実施するのか） みなと交流センター周辺施設利用者					
事業の目的 （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 徳島県との土地交換により取得した小松島町字新港の港湾施設につき、利便性向上のため、排水施設の補修及びフェンスの除去、ライン引きなど駐車場機能の整備を行った上で、水銀灯等の維持管理を行っている。					
事業の内容 （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 駐車場整備については、指名競争入札により工事を依頼し、水銀灯については、徳島県より移管を受け、4月より維持管理や電気代等の負担を行っている。					
事業の背景 （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） これまで、しおかぜ公園北側の駐車場については、市有地と県有地が存在しており、境界にフェンスが存在するなど駐車場として有効的に利用できない状態であった。そのため、市有地である小松島保育所跡地と県有地である新港湾敷地を交換することにより、みなと交流センター利用者及び港まつり、うまいもん祭りなど各種イベントの駐車場として有効利用できるものと考え徳島県と土地の交換を行った。 それに伴い、水銀灯等の管理についても市で行い、利用者の利便性向上を図っている。					

事務事業の業績・推移（目標・実績）								
成果指標	指標名			指標の説明				指標化できない成果
	単位	H21	H22	H23	H24	将来目標 (年度：平成)		
	目標							
	実績							
	達成度							
活動実績・参考となる指標	指標名		単位	H21	H22	H23	H24	指標の説明
			計画					
			実績					
			計画					
			実績					
			計画					
			実績					
			計画					
			実績					

事務事業に係るコストの業績（目標・実績）				（単位：円）								
全体コスト（円）	関連事業費	A	直接事業費	21年度決算	0	22年度決算	4,019,673	23年度決算	0	22年度予算	4,165,000	
		財源内訳	A	国県支出金								
			B	地方債			2,600,000					
			C	利用者負担 一般財源			1,419,673					
		B	人件費 ×			320,546		0				
		D	職員平均人件費			3,205,455						
		E	従事した割合 人			0.1						
		A + B				4,340,219		0				
		単位コスト	活動指標の説明								備考	
			活動指標 1 単位当たりコスト								平成21年4月1日現在 人口41,778人	
市民一人あたりのコスト					105				平成22年4月1日現在 人口41,507人			

事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺の状況等や今後の予測) 平成22年度末に旧小松島フェリー棧橋が改修されるとともに水上ステージや水中LEDが設置され、市内外の来場者も見込まれる。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 工事前までは駐車場のラインが引かれておらず、フェンス等の障害物が存在したため、車の置き方によって駐車台数が制限されていたので、これが改善され、収容台数が増加して利便性が増した。

項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果(該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば必要性がある <input type="checkbox"/> 必要性が低い <input type="checkbox"/> 必要性がない	イベント等での駐車場の不足は常に問題になっていたので収容台数を増加させることにより、利便性が増した。
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="checkbox"/> 市が行わないといけない <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば市で実施 <input type="checkbox"/> 必然性が低い <input type="checkbox"/> 必然性がない	整備や水銀灯の維持管理については、利用者の安全性確保のため行う必要がある。
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば効率的 <input type="checkbox"/> どちらかといえば非効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的	指名競争入札で契約するなど、コストの削減は考慮している。
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 比較的緊急性がある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が低い <input type="checkbox"/> 緊急性はない	港まつり等イベントの際の駐車場不足は慢性化しており、来場客の利便性や来場客の受け入れ態勢を整えるため必要なものである。
成果 (目的の達成状況)	<input type="checkbox"/> 成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっていない <input type="checkbox"/> 成果は上がっていない	整備工事により、駐車場の収容台数が増加した。
今後の課題	県による周辺の整備も進んでおり、駐車場と一体としてイベント等に利用していく方を考える必要がある。	

一次評価(評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	評価点による判定		判定に至った理由
		評価点	判定	
1	1 拡 充 す る	80点以上	1	駐車場整備はイベント時の駐車場確保ができ、また、敷地内のフェンスを除去したことにより駐車台数が増え、敷地の有効活用を図れた。
	2 現状のまま継続する	60～79点		
	3 改善・効率化し継続	50～59点		
	4 見直しの上縮小する	40～49点		
	5 終期設定し終了	30～39点		
	6 休 止	20～29点		
	7 廃 止	19点以下		

改善・効率化・見直しの方向性 一次評価の判定が3・4の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容(方向性・対象・手段等について記述)】

二次評価(所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	判定説明
1	1 拡 充 す る 2 現状のまま継続する 3 改善・効率化し継続 4 見直しの上縮小する 5 終期設定し終了 6 休 止 7 廃 止	駐車可能台数が増加し、「港まつり」や「うまいもん祭り」など各種イベントの際の収容台数が増加し、また、イベントスペースとしての利用もしやくすなり整備の効果が出ている。